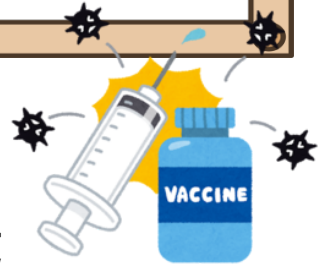


和地ひとみレポート No.423

東大和市の新型コロナウイルスワクチン接種 集団接種会場で使用するワクチンを一部変更



■3回目のワクチン追加接種

…全国の多くの都道府県が対象となっている『まん延防止等重点措置』は、当初の予定では2月13日（日）までとされていました。しかし、2月10日、政府は東京や神奈川、愛知など13都県で『まん延防止等重点措置』の期間を新たに3月6日まで延長するとともに、12日からは高知県が追加されました。

…『まん延防止等重点措置』の延長の背景には、高齢者の感染拡大により、入院者が増加したとともに、重症者や志望者増加していること。その影響で医療もひっ迫。また、子どもの感染比率が大きいことにより、学校や保育園などの運営への影響が大きく、保護者の仕事にも影響が出てきていることなどが挙げられています。

…このような状況を改善するための、現実的な唯一の対策ともいえるのが、3回目のワクチンの追加接種ですが、様々な要因でスムーズに進んでいないのが実情です。

…このような中、2月7日には、ワクチンの3回目接種についての総理指示が出て、その内容が首相官邸のホームページに掲載されました。

【総理指示(ワクチンの3回目接種について):一部抜粋】

感染力の強いオミクロン株への対応にあたって、ワクチンの3回目接種は、発症予防・重症化予防の要となるもの。

2月からは、一般高齢者の前倒し接種が本格化しており、国・自治体・企業挙げて、2月のできるだけ早期に1日100万回までペースアップすることを目指して、取組みを強化してまいります。

厚生労働大臣、堀内ワクチン接種推進担当大臣を中心に、各大臣、連携の下、全力で当たっていただきたい。

特に、総務大臣におかれては、自治体に計画的に配布したワクチンをフル活用して、最大限の前倒しが進むよう、2回目接種から6か月を経過した方々への接種券の配布促進、接種会場の増設など、各自治体に対し、国・自治体・企業挙げての100万回目標への協力を要請いただきたい。そして、現場の声を丁寧に伺い、必要な後押しをお願いしたい。

…東大和市では1月20日（木）に最初の3回目接種のための接種券を発送。東大和市医師会の協力により、一部の市内クリニックで1月中旬から個別接種を前倒しして開始。2月5日（土）からは、集団接種（会場：旧みのり福祉園）も開始し、個別接種についても市内27か所の医療機関で対応。65歳以上の市民を優先的に、順次、接種を進めている状況です。

■使用するワクチンの変更

…「2回目接種を終了した都民の人数(令和3年12月31日現在)と追加(3回目)接種に伴う東京都へのワクチン配分量(4月上旬配布分まで)」は、東京都の福祉保健局によると、下記の表のとおり。表の数量の通り、1回目、2回目にファイザー社ワクチンを接種した方でも、多くの方に3回目接種については、武田/モデルナ社（以下、モデルナ社）のワクチンを接種していただく必要があるとのことです。

【2回目接種を終了した都民の人数(昨年末現在)と 3回目接種に伴う東京都へのワクチン配分量 (4月上旬配布分まで)】

	ファイザー社 ワクチン	モデルナ社 ワクチン	合計
2回目接種を終了した都民の人数	805万 3,219人	264万 3,050人	1,069万 6,269人
接種比率	75.3%	24.7%	—
3回目接種ワクチン配分量	466万 8,300回	658万 6,650回	1,125万 4,950回
配分比率	41.5%	58.5%	—
過不足数 (不足=▲)	▲338万 4,919回分	394万 3,600回分	—

◆2回目の接種比率と3回目の接種のために配分されているワクチンの比率はファイザー社が減り、モデルナ社が増えている。

…東大和市の3回目のワクチン追加接種で使用するワクチンの種類については、2月1日の市報で広報されていますが、2月10日、市は「今後の国からのワクチン供給計画を踏まえ、集団接種会場で使用するワクチンを変更する」とこととしました。具体的には3月9日（水）以降、水曜日と木曜日に集団接種会場で使用するワクチンを、モデルナ社製に変更することです。

【変更前のワクチンの種類(2月1日号市報の広報内容)と変更後のワクチンの種類】

～個別接種～ ファイザー社製

～集団接種～

・水・木曜日:ファイザー社製 →(変更後)モデルナ社製

・土曜日 :ファイザー社製

・日曜日 :モデルナ社製

(裏面に続く)

…ちなみに、1回目、2回目のワクチン接種についても個別接種（対応しているクリニック等は市のホームページに掲載）、集団接種（旧みのり福祉園）ともに現在も対応しており、個別接種、集団接種の双方とも、ファイザー社製のワクチンを使用すること。ただし、集団接種の場合、毎週水曜日の午後3時30分～のみ、1回目、2回目の接種日となっています。

■3回目の接種券の送付についての変更は

…当初、3回目のワクチン接種の接種券送付については、「2回目接種を終了した日から、原則8か月以上経過した18歳以上の方」、「ただし、65歳以上の方については、2回目の接種が終了した日から、7か月以上経過した方」という国からの通知に沿って東大和市は送付。しかし、2月1日の市報では「2回目の接種を終了した日から概ね7か月が経過する時期に対象者に接種券を順次送付」と変更されていました。

…しかし、前述の総理指示があったことを受け、東大和市は、前述の集団接種の3回目接種に使用するワクチンの一部変更を決定したと同時に「接種券は今後、2回目接種後、概ね6か月を経過した方へ接種券を送付する予定」と接種券の送付についても変更。市は現在、国の大規模接種会場等での追加接種を希望する方については、個別対応していますが、このことも、今回の接種券送付の変更に関係していると思います。

…国の大規模接種会場は、2回目の接種から6か月経過している人を対象としていますが、接種券を持っていることが前提です。私のところにも「国の大規模接種会場で接種を受けたいが接種券がなくて困っている」というお声が寄せられていたので、この市の変更は大規模接種会場の開設前に間に合わせておくべきだったと思います。しかし、国からの通知に基づいての市は対応しているため、今回の変更は、東大和市としての最善の対応だったと理解しています。

…『集団接種会場での曜日別の使用ワクチンの変更』と『接種券の送付を2回目の接種から概ね6か月が過ぎた方に送付する』という今回の2つの変更点については、2月15日号の市報で広報されるとのことです。

■5歳～11歳の市民への接種は

…東大和市の市民のワクチン接種率は、令和4年1月25日現在、1回目全人口の78%、2回目全人口の77%とのこと。また、接種対象者（12歳以上の市民）のうち、接種した方の令和4年1月25日現在の割合は以下のとおりです。

【接種対象者(12歳以上)の市民の接種率

速報(令和4年1月25日現在)】

	1回目接種率	2回目接種率
65歳以上	93%	93%
60歳～64歳	92%	92%
50歳代	88%	87%
40歳代	85%	84%
30歳代	81%	79%
20歳代	77%	76%
12歳～19歳	72%	69%
総計	86%	85%

…海外で先行していた12歳以上の方へのワクチン接種について、日本でも、昨年5月31日に承認され、その翌日の6月1日から適用となりました。この報道を耳にした際は「大人でもワクチン接種への不安がある方がいる中、子どもへの接種はあまり進まないのでは…」とも思いましたが、上記のとおり、東大和市でも12歳～19歳の市民の約7割が接種を受けているという高い接種率です。これは、ワクチンに対する知識が高まったとともに、感染したくないという意識も高まったの結果ではないかと推測します。

…加えて、国は2月下旬以降に、さらに低年齢の5歳～11歳の方専用のワクチンを供給することとしています。このことを受けて、現在、東大和市は、東大和市医師会等の医療関係者と協議を行っており、最終的には市報の3月1日号で広報されるとのことです。

…様々変更の多い3回目のワクチン接種への対応ですが、機を逃さずに、コロナ禍が早く収束する有効な方法に変更・実施してほしいです。

仲原1丁目（ミニストップ前）にゴールドポスト

…1月28日に東大和市仲原1丁目に設置されたゴールドポスト。これは内閣官房と日本郵便株式会社が推進している“ゴールドポストプロジェクト”によるものです。

このプロジェクトは、東京2020オリンピック・パラリンピックで金メダルを獲得した日本代表の選手や監督のゆかりの地の郵便ポストを金色に塗り替え、選手の栄光を称えとともに、選手等を排出した地域を盛り上げるといったものです。

設置場所については出身地や練習場所などがある市区町村等を選手が選び、設置期間については、選手側からの申し出がない限り、半永久的にゴールドポストを維持するとのことです。

今回東大和市を設置場所に選んだのは、オリンピックの野球の金メダリストの菊地涼介選手です。

…このゴールドポストは、2012年ロンドン大会でパラリンピック原点の地のストック・マンデビルの病院前にレガシーとして金色のポストが設置され、後にイギリス全土で約110本のポストが金色に塗り替えられたことにヒントを得たものと。ちなみに、今年の2月1日時点で、国内に設置されたゴールドポストの数は61本。都内では国立競技場の前の他、江東区、品川区、世田谷区、東大和市に各1本ずつのみという貴重なポストです。



市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。コロナ禍において、駅頭での配布は一時、控えております。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。



東大和市 市議会議員

和地 ひとみ

■ 連絡先

和地 ひとみ事務所

HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp

【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102